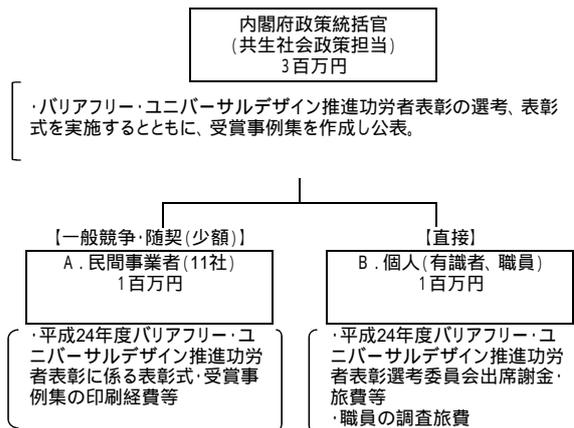


平成25年行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	バリアフリー・ユニバーサルデザイン施策推進経費		担当部局	政策統括官(共生社会政策担当)		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度		担当課室	総合調整第2担当		参事官 山崎 房長			
会計区分	一般会計		政策・施策名	49バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進に関する 広報啓発、調査研究等(政策12-施策)					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進要綱 (平成16年6月1日バリアフリーに関する関係閣僚会議決定)		関係する計画、 通知等	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰要領 (平成13年11月6日バリアフリーに関する関係閣僚会議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進について顕著な功績の者を顕彰し、その優れた取組を広く普及させること等を通じ、バリアフリーやユニバーサルデザインが当然のこととして理解され、共生社会の実現が図られることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進に関して、施設の整備、製品の開発、推進・普及のための活動等において、顕著な功績又は功労のあった個人又は団体に対して、内閣総理大臣表彰又は内閣府特命担当大臣(高齢社会対策又は障害者施策担当)から表彰するとともに、事例集を作成し、ホームページでの公表等により普及を図る。								
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他		
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	11	7	6	5			
		補正予算	0	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0	0			
		計	11	7	6	5			
	執行額		5	3	3				
執行率(%)		42.7%	34.3%	41.8%					
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	バリアフリーの認知度	成果実績	%	94.3%	92.9%	92.6%	100%		
		達成度	%	94.3%	92.9%	92.6%			
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰	活動実績 (当初見込み)	回数	1 (1)	1 (1)	1 (1)	(1)		
単当たり コスト	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰経費(2.6百万円/1単位)			算出根拠	X=2.6百万円(バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰の24年度決算額) Y=1回(実施回数)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	3							
	職員旅費	0							
	委員等旅費	1							
	庁費	1							
	計	5							

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進について顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を顕彰することにより今後の活動を支援するとともに、優れた取組を広く普及することは、バリアフリー・ユニバーサルデザインに対する国民の理解を深めるためにも、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進要綱に基づき確実に実施する必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			表彰手続について、外部発注せず職員自ら行うことによりコスト削減を図っている。 不用率が大きくなっている理由は、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進に関する施策が変更される可能性があったことから、本格的な調査の実施はこれらの状況を見極めてから行うべきものと判断し、調査研究費を使用しなかったことによる。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)						
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進に関しては、一部の関係者のみによる取組とするのではなく、国民一人一人の課題であることから、社会全体で取組をすすめていくことが重要であり、障害者や高齢者等の自立した日常生活や社会生活を確保するための取組の普及・啓発を一層促進することが必要である。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰は、選考については有識者で構成される委員会の意見を聴取したうえで決定しており、事務全般については、担当職員が直接実施している。 バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進について、国民の理解の促進・拡充に向け、より効果的な手法を検討する。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0128	平成23年	0129	平成24年	0125

平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.宮嶋印刷(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功 労者表彰受賞事例集	1			
その他	消費税	0			
計		1	計		
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックごと
 に最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

支出先上位10者リスト

A. 民間事業者(10者)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	宮嶋印刷㈱	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰受賞事例集印刷製本	1	随契(少額)	-
2	(有)丸の内常盤家	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰表彰式会議費 他	0	随契(少額)	-
3	㈱双文社	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員会資料印刷製本	0	随契(少額)	-
4	東京手話通訳等派遣センター	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員会及び現地調査手話通訳	0	随契(少額)	-
5	(株)東京工芸舎	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰記念品(盾)	0	随契(少額)	-
6	扶桑速記印刷㈱	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員会速記	0	2者	-
7	ニッコー観光バス㈱	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰表彰式バス借料	0	随契(少額)	-
8	㈱東京書枝房	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰表彰状揮毫	0	随契(少額)	-
9	(株)東京写真イメージング	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰記念写真	0	随契(少額)	-
10	大和自動車交通(株)	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰表彰式福祉車両借料	0	随契(少額)	-

B. 個人(有識者、職員)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	有識者A	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員会等 出席 謝金・旅費	0	-	-
2	職員a	「第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議2012 in 福岡」開会式出席等 旅費	0	-	-
3	有識者B	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員会等 出席 謝金・旅費	0	-	-
4	有識者C	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員会等 出席 謝金・旅費	0	-	-
5	有識者D	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員会等 出席 謝金・旅費	0	-	-
6	有識者E	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員会等 出席 謝金・旅費	0	-	-
7	有識者F	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員会等 出席 謝金・旅費	0	-	-
8	有識者G	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員会等 出席 謝金・旅費	0	-	-
9	職員b	「第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議2012 in 福岡」開会式出席等 旅費	0	-	-
10	有識者H	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰選考委員会等 出席 謝金・旅費	0	-	-